

大きな声で
お返事できました◎

来賓席

議者席

はなわ 議会だより

2015
No.130

(常豊幼稚園入園式)

発行/福島県塙町議会
平成27年4月24日

3月定例会

平成27年度予算	P 2
予算特別委員会	P 4
町の考えを問う	P 10
(6議員が一般質問)	
意見交換会開催	P 15

平成27年度予算
65億8800万円

史上最大の予算

3月定例会

3月定例会は3月10日から17日までの会期で開催され、平成27年度予算など町提出議案38件と委員会提出議案4件を審議し、全議案を全会一致で可決しました。一般質問では6名の議員が登壇し、健康福祉センターなどについて質問し、町の姿勢を質しました。

平成27年度当初予算

一般会計は65億8800万円となり、前年度と比べ5億9500万円の増となりました。これまでで最大の予算です。

なぜ最大の予算なのか。「東日本大震災産産振興対策事業補助金」(JA東西しらかわ子会社へ牛舎建設費用・農業機械の導入費補助)2億5316万円や26年度から続く「ふくしま森林再生事業」(森林整備、路網整備)2億1950万円、町道新設改良事業「板庭田野作湯舟線

改良、桜木町末広線改良」(2億2700万円)など大きな事業が予定されています。暮らしに直結したもののから地域産業である林業・畜産業の再生まで幅広い予算となっています。

地方創生予算

また、地方創生事業として9958万円が計上されています。平成26年度補正予算と合わせると1億7247万7千円になりますが、これらは国から地方創生交付金が配分され、緊急性の高いものは補正予算で計上しています。

地方創生の主な事業

・「元気なむら創生モデル事業」
675万円

企業と農村地域が連携し、モニターツアーなど行う。
・「定住促進住宅整備」
675万円

北原地内の遊休地に定住促進住宅を建設
・「塙町総合戦略事業」
1000万円

補正予算

・「塙町総合戦略事業」
1000万円
地方創生の具体的事業を町民と共に計画する。

・「プレミアム商品券発行事業」
2500万円
・「空き家調査」
700万円
空き家実態調査
・「アンテナショップ支援事業」
500万円

葛飾区のアンテナショップ運営補助金

このほか27年度の主な事業

・「健康センター整備」
5510万円

建設予定地の既存建物を解体し、基本計画策定に着手。
・「笹原・常豊小・塙中施設整備・改修」
1809万円

小学校トイレ改修ほか修繕工事、中学校体育館トイレ改修
・「中学校武道場建設」
1億2700万円

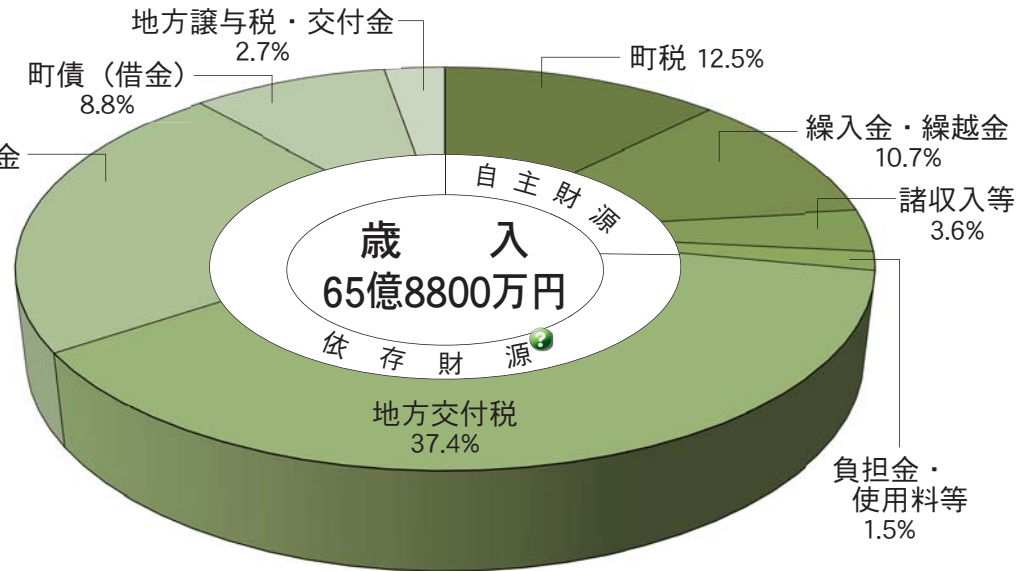
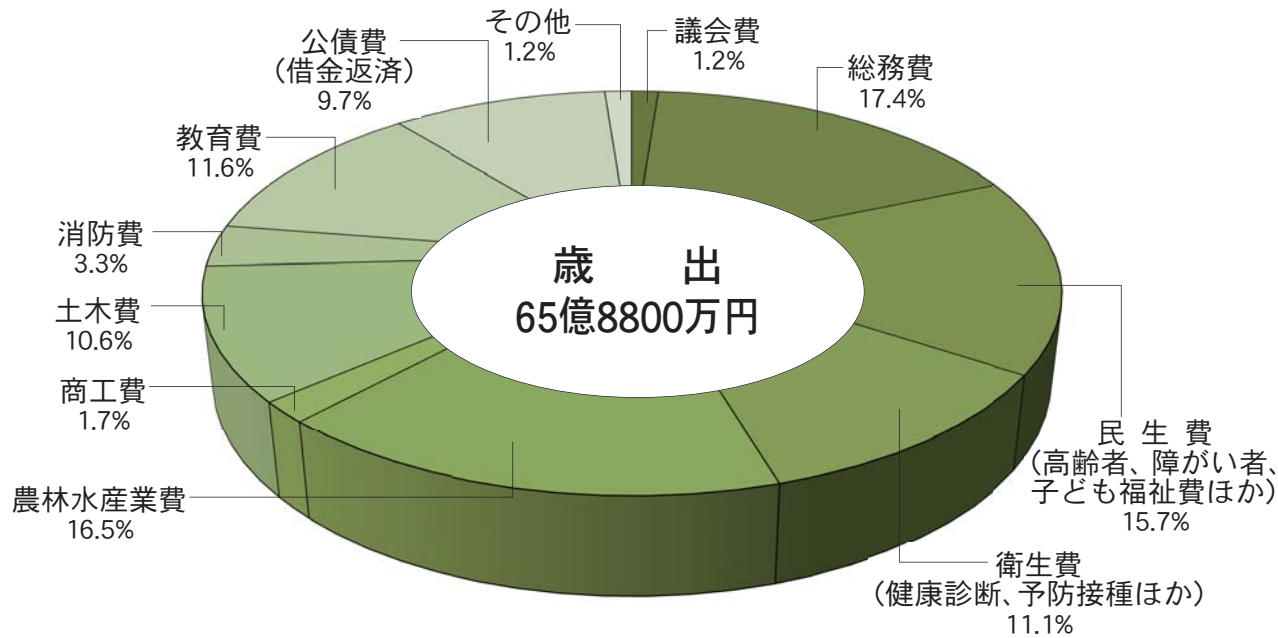
・「中学校図書館司書配置・スクールソーシャルワーカー配置」
252万円

最近よく聞く地方創生ってなに

日本全体で人口減少が進むなか、地方では首都圏との経済格差が広がり、若い世代の首都圏への人口流出が進み、地方経済の衰退が加速しています。

その対策として地方が自ら考え自ら実施する事業に対し、国がヒト・カネを支援するものです。町は今年度、向こう5年間の方針となる地域戦略プランを策定し、安心して暮らし続けられる町づくりを目指します。

一般会計の内訳



県から一定の基準に基づき交付される収入

平成27年度各会計の予算 (前年度との比較)

一	一般会計	65億8800万円	9.9%
特別会計	国民健康保険	12億4063万円	6.0%
	笹原財産区	44万円	1.6%
	農業集落排水処理事業	1億5619万円	▲3.5%
	公共下水道事業	1億9507万円	9.2%
	介護保険	9億4900万円	4.1%
企業会計	後期高齢者医療	9934万円	2.6%
	上水道事業	4億432万円	▲15.8%



賛成討論 鈴木 茂

良しとすべきは歳入・町税で滞納繰越金を明記したことであります。これは滞納を解消しようという姿勢の表れと収入の意気込みを感じます。予算全般を見ましても非常に厳しい予算の中、きめ細かな対応が取られており、町民のしあわせ実感の町づくりとして立派な予算であり賛成いたします。

滞納繰越...前年度の未納金を翌年度の歳入として計上する。今までは税金の滞納分を仮置きで予算を1000円としていた。今回の予算は徴収目標を明らかにし徴収を強化していくため滞納繰越分の75%の徴収を目指し、予算計上した。

平成27年度予算

適切な執行を

平成27年度予算を審議するため、3月13・16日に予算特別委員会を開催しました。二日間で一般会計・特別会計8議案を審査し全会一致で可決しました。



一般会計

滞納繰越の予算

藤田(一) 滞納繰越分予算の計上根拠は、

答 納税の公平性を図り、徴収の強化をしている。滞納分の75%を確保する上で計上した。特別会計も同じである。

災害備蓄品購入

藤田(一) 災害備蓄品購入はどのようなもので何年もち、どこへ保管するのか。

答 年々、備蓄をしていく。乾パン・保存水・アルミマット・パーティションである。乾パンなど消費期限は5年。当面は防災センターに保管を考えている。

消防屯所新築工事

藤田(一) 1分団1班消防屯所新築工事費などが高い理由は、

答 代官町に建設予定。

定。1階を倉庫、2階を車庫、3階を休憩所とした計画。木造作りではなく鉄骨3階建ての予算を計上した。

藤田(高) 消防設備費消防屯所の外観は、

答 代官所跡や道の駅にも近いので周りの風景のマッチした外観にしたいと考えている。

リニューアル工事

鈴木(茂) 農村福祉会館リニューアルの具体的な内容は、

答 築30年以上が経過。エアコン、防火扉天井、床、壁、トイレの改修、ステージの拡張、椅子とテーブルの交換を計画している。

衛生組合負担金増

小峰 東白衛生組合負担金増額の内容は、

答 焼却炉の改修工事のため。震災復興特別交付税として1億8千6百万円を受



改修工事が行われる福祉会館

ける。

マイナンバー制度

吉田 社会保障・番号制度システム改修は入札を行うのか。
答 現在使用しているシステムがあるので随意契約になる。



予算特別委員会とは

予算特別委員会は、予算審査のために本会議で議決され設置される委員会。予算をより深く審議するために、通告制で行い、質問と答弁の内容を整理しやすくする。

消防団員退職報奨金分

吉田 消防団員退職報奨金分はどこに納めるのか。

答 退職消防団員に対し支給するための分担金。団員当り19200円。福島県市町村総合事務組合に町で一括して納入する。

健康福祉センター

藤田(一) 健康福祉センタープロポーザル費用と整備検討委員会謝金は、

答 公募により目的に合った企画を提案してもらい、ヒアリングをして企画提案能力のある業者を選定する方法。今後の意見を聞くための委員会謝金である。

藤田(一) 旧高伸木材の建物解体工事は入札をするのか。

答 決定していないが安い金額でやりたい。

特定保健指導

鈴木(幸) 特定保健指導などの謝金とは何か。参加率は、

答 外部講師の謝金。特定保健指導の参加率は31%で県内では高い。

健康づくり

鈴木(幸) 健康づくり推進協議会事業内容は、

答 委員10名、医療・教育関係者、教育委員会、町民の代表で構成。健康はなわ21計画の意見をいただく。

医療費助成事業

鈴木(安) こども医療助成とひとり親家庭医療費助成の関係は、

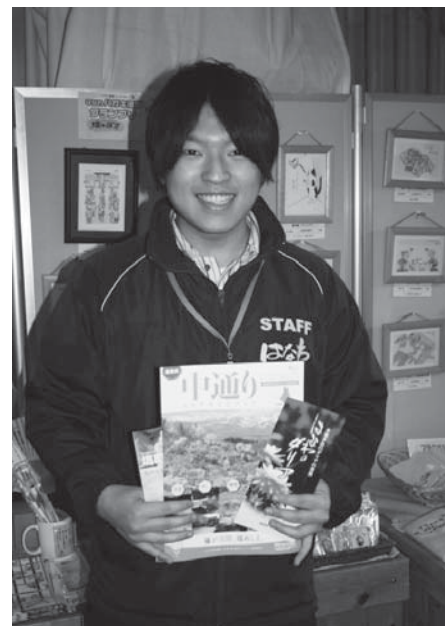
答 子どもはこども医療費が該当するので無料。ひとり親医療費助成は親のみ助成する。

子育てサロン謝金

吉田 子育てサロン謝金とは、

答 月二回開催を新年度から週3回に増やす。謝金の支払先は、

保育士や幼稚園教諭の資格を持った個人に支払う。



コミプラでも観光案内します

コミプラ委託先

藤田(一) コミュニティプラザの管理委託先が観光協会になった理由は、

答 磐城駅が発展性のある総合的な開拓を目指すためである。

小野田自然塾

藤田(一) 小野田自然塾国有林貸付測量業務委託料と今後の運営は、

答 森林管理署から借り受ける土地の更新時

期に合わせ新たに借りる部分を測量する。小野田さんの遺志を継ぐ団体に引き継ぎたい。

川上東河内線

藤田(一) 川上東河内線とはどこなのか。工事の必要はあるのか。

答 JA営農センターから北、国道289号線の交差点。地区の陳情と通学路が狭い状況で交付金事業を活かして計画した。

塙駅前バス待合所

鈴木（幸） 塙駅前バス待合所施設管理委託の内容は。テレビが見られないようだが。
答 福島交通に施設の開け閉め、トイレの清掃を委託。テレビが見られない状況は早急に是正する。



駅前のバス待合所

業。モニターツアーなど行う。

真名畑八溝線復旧

鈴木（幸） 真名畑八溝線復旧工事の内容は。
答 振興計画では3年間で工事を進める。法面の崩落があり通行止めを解除する工事である。

新規畜産振興事業
鈴木（茂） 東日本大震災畜産振興事業の場所は。
答 羽原谷地内を予定。JAでは関連会社を設立して土地の選定に入ると聞いている。

道路脇腐敗木等除去

鈴木（茂） 道路脇腐敗木等除去の場所は。
答 森林環境交付金の基金で行う。松くい虫防除補助金が活用できない地域、常豊・笹原地区を里山整備と併せて除去したい。

新規事業とは
鈴木（幸） 元気なむら創生企業連携モデル事業とは。
答 企業と農村地域が連携して取り組む。福島県の現状を理解し、農村交流人口の増加、6次産業化を進める事

道路脇腐敗木等除去
鈴木（茂） 道路脇腐敗木等除去の場所は。
答 森林環境交付金の基金で行う。松くい虫防除補助金が活用できない地域、常豊・笹原地区を里山整備と併せて除去したい。

川上川河川公園

鈴木（茂） 道の駅の川上川河川公園はどのような物を作るのか。
答 木製テンプル、パラソルなど移動可能なものを設置。玉石を敷き詰めて川上川から水を流し込むイメージを考えている。

小林 川上川河川公園整備は水害があり無理があるのではないかと。
答 前向きに行うことが大切。町活性化につながる公園を作りたい。

ふくしま森林再生事業

小峰 ふくしま森林再生事業はなぜ業務委託なのか。
答 事業主体は町。年度別事業計画と同意取得は業務委託する。森林整備は27年度は90ha、28年度以降は毎年300haを計画。

定住促進住宅

小峰 定住促進住宅建設工事が高いとの議会の意見をどう考えるのか。
答 議会は軽視してはいない。できるだけ価格を抑える。建築単価の検討を進めていきたい。

結婚促進事業

藤田（高） 結婚促進事業活動費補助金の運用はしているのか。
答 結婚促進協議会に対して補助。商工会青年部が婚活イベントを開催。定住自立圏でも男女の出会いの場を考えていきたい。

胡桃下団地のカメラ

吉田 防犯カメラのプライバシー保護などの関係法令はどうなっているか。
答 把握していない。陳情があり防犯の意味がある。

発達障害理解推進拠点事業

鈴木（幸） 発達障害理解推進拠点事業とは。
答 国の委託で発達障害の正しい知識を身につけ実践的な研究を行う。常豊小学校が拠点校になり進めていく事業。

スクールソーシャルワーカー

鈴木（幸） スクールソーシャルワーカー事業とは。
答 所得状況を審査。校長、民生児童委員の意見を聞いて支給対象とする場合もある。



防犯カメラが設置される胡桃下団地

要・準要保護児童生徒
小峰 要・準要保護児童生徒の審査は。
答 所得状況を審査。校長、民生児童委員の意見を聞いて支給対象とする場合もある。

国民健康保険特別会計

鈴木（茂） 国民健康保険収入が大きく減額する理由は。
答 大きな理由は被保険者が減少している。

鈴木（茂） 保険財政共同安定化拠出金が大幅に増えた理由は。

答 平成18年度から制度化した。県内市町村の保険料平準化、安定化を図る目的。平成27年度から内容が変わることから増えた。

国保税の納入状況

小貫 国保税25年と26年の納入状況は。
答 26年度の収納率は79・57%、25年度は80・22%である。

介護保険特別会計

介護予防教室
鈴木（幸） 介護予防教室の参加率と見直しが必要では。

図書購入
吉田 図書購入の方法は。
答 芥川賞や直木賞受賞の注目を集めた本や、利用者からのリクエストなどで選び購入している。



図書館で行われているおはなし会

学校のコンピュータサーバー

鈴木（孝） 各学校にサーバーがあるが1台にできないか。
答 現在のサーバーを生かした見積などを検討したい。

答 16名の参加で6・3%。方法は見直す。

後期高齢者医療特別会計

藤田（一） 介護予防教室参加者を増やすため各地区に出向いて実施しては。
答 地区に出向いたほうがよいと思う。講師・事業費の問題がある。

コンビニ収納

小林 コンビニ収納の手数料はいくらか。
答 一件当りの手数料になる予定。まだ決定していない。

コンビニ収納と

? コンビニ収納とは・・・平成28年度から税金や保険料が全国のコンビニやゆうちょ銀行で支払えるようにする仕組み

笹原財産区特別会計

財産区の伐期
藤田（一） 契約が来年までだが、伐期を町ではどのように考えているのか。
答 七部分林で話し合いを進めてきた。町が買い上げて管理する意見が出され、管理会で協議をしていきたい。

公共下水道事業特別会計

滞納繰越
鈴木（安） 滞納繰越分算出の根拠は。
答 受益者負担金滞納は5名で36万円の計上、下水道使用料滞納繰越分は1万円の存目計上。自宅訪問をして徴収努力をしている。



伐期を迎える笹原財産区

3月定例会

条例の制定

教育長の勤務時間等に関する条例
法改正による教育長の身分の変更（適用は教育長選任時）
このほか4条例を制定

条例の改正

職員給与に関する条例
例 高齢層の給料を引き下げる。

質疑

職員給与の昇給停止
小林 55才昇給停止とのことだが、給料の額は。
答弁 一概には言えない。課長職の平均は41万6600円である。
職員の特殊勤務手当に関する条例
除雪など重機運転業務の手当を新設する。

特別会計条例を改正する条例

林間工業団地が完売したため廃止。

放課後児童健全育成事業分担金徴収条例

町内3児童クラブの分担金を統一。

奨学資金貸付基金の設置管理及び処分に関する条例

貸付手続きの改正と遅延利息の規定を追加。

介護保険条例

国の制度改正、事業計画の見直しによる介護保険料の見直し

介護保険条例改正のポイント

介護保険料平均 22.6%アップ

⇒介護保険料をこれまでの6段階から9段階へ細分化
⇒地域支援事業の改正（国県から町事業へ移行）
介護保険の費用は利用者負担を除いて、公費が50%（国25%・都道府県12.5%・市区町村12.5%）で、残りの50%を介護保険料でまかなっている。今後、介護認定者が増え、介護保険サービスの利用増加により給付費などが増えるため介護保険料が増額となる。

改正後の保険料（抜粋）
第5段階（住民税課税世帯で本人非課税、本人年金収入など80万円超）の場合
年額 60,000円 月額 5,000円
年額 12,000円の増

質疑

介護保険料変更は
鈴木（茂） 介護保険料の算定基準が所得から収入に変更された理由は。
答弁 表現を変えた。年金者は収入としたほうが分かりやすい。

質疑

町道占用料減額の理由
吉田 町道占用料が減額になった理由は。金額の設定に基準はあるのか。
答弁 国は3年に一度見直しをする。それに基づき見直した。
このほか8条例を改正1条例を廃止した。

その他

過疎地域自立促進計画の変更について
高等学校武道場建設事業を追加。



老朽化した柔道場

白河市と定住政策を進めるため協定を締結、県南地区8市町村とともに協定した。

質疑

防犯カメラの推進を
吉田 防犯監視カメラを広域的に設置してはどうか。

第1回臨時会

平成27年2月17日、課設置条例などの改正、工事請負契約の締結、補正予算を可決した。

条例の改正

課設置条例など
水道課を生活環境課とし、水道・消防・防災などを担当する。

長期総合計画審議会条例
議員が町の付属機関の委員に就かないよう改正。二元代表制確立のため議会改革の一環として改正する。

温泉条例

上下水道委員会設置条例
議員が町の付属機関の委員に就かないよう改正。二元代表制確立のため議会改革の一環として改正する。

契約の締結

工事請負契約について
森林管理道整備事業（林道天日向線開設工事）
請負額を5195万円
9880円に変更

補正予算

平成26年度埴町一般会計補正予算（第7号）
110万円減額し総額を67億5111万7千円とするもの。庁舎備品購入費の減、埴農村勤労福祉会館リニューアル工事設計監理業務委託料の増

専決処分

平成27年1月30日専決
平成26年度一般会計補正予算（第6号）
1433万円追加し総額を67億5221万7千円にするもの。除雪のための重機借り上げ料の増

質疑

総合戦略策定委員とは
藤田（一） 地方版総合戦略策定委員の選任範囲、業務委託先は。
答弁 委員は産官学など各界から選定したい。委託先は現在、検討中である。

補正予算

平成26年度一般会計予算（第8号）
地方創生事業（2ページ掲載）ほか森林整備加速化・林業再生基金事業補助金の増

補正予算のあらまし

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	2893万円	67億8005万円
国民健康保険特別会計	△1045万円	11億9210万円
農業集落排水処理事業特別会計	△448万円	1億7527万円
公共下水道事業特別会計	111万円	1億8328万円
介護保険特別会計	△849万円	9億1269万円
後期高齢者医療特別会計	197万円	9890万円



学童保育は町内3カ所で行われている

学童保育の場所は

鈴木（安） 台宿分館は学童保育を行っている。本来の利用がしにくい。別の場所で行うべきと思うが計画はあるか。
答弁 将来的には別な施設が必要であると認識している。

健康福祉センター

藤田（一） 健康福祉センター委託料の使い道は。
答弁 高伸木材跡地の建物解体工事の設計委託料などである。

商品券の適正な発行を

小林 プレミアム付商品券の発行事業について、前回の検証をふまえ各家庭に均等に配つてはどうか。
答弁 商店街で消費が伸びるように不公平のないようにしたい。

起業支援の考えは

藤田（高） 企業誘致の調査費が減額だが起業家への支援に使えないか。
答弁 減額は工場適地調査費で該当がなかった。土地があればすぐに買収して企業誘致に備えたい。これから空き家調査をする。会社を興そうとする方が利用できると思う。

減額は工場適地調査費で該当がなかった。土地があればすぐに買収して企業誘致に備えたい。これから空き家調査をする。会社を興そうとする方が利用できると思う。

ふるさと納税を活用し町をPRしては 検討中である



鈴木 安次

東日本大震災から4年が過ぎたが風評被害もまだまだ終息していない。一歩ずつともに前進していきましょう。

一般質問

一般質問

これどうなんだっぺ？

一般質問とは議員が町の行財政全般について、町に疑問点を質問し、考えを求めるものです。町民に代わって町の運営を監視する議員が、議員しかできない権限として与えられています。原稿は質問者が要約し、執筆しています。一般質問はパソコンやスマートフォンから見ることが出来ます。町のホームページからお進みください。

埴町議会 議会中継



<http://smsrt.discussvision.net/smart/tenant/hahawa/WebView/>

「埴町議会」で検索してください

町の考えを問う

今後の介護保険制度は 地域ぐるみで支え合う



小貫 初枝

従事者の不足により地域ぐるみで支え合おうというもの。移行には準備期間が必要なので平成29年度スタートとしたい。

質問 介護保険制度の要支援1・2のサービスが変更され、市町村の事業に移行される。アンケートでは自治体の74%が要支援の多様なサービスについて「できない」「見通しが立たない」と回答している。これからの取り組みについて伺う。

質問 介護保険料の納入状況と滞納者への対応は。

答弁 今年度分として約87%の徴収を見込んでいる。滞納者へは督促状送付や電話で納入を督促しているが、悪質な場合は差し押さえをする。

質問 訪問介護と通所介護サービスの一部が町事業に移行される。介護

増加はなぜか

増加はなぜか
ひとり親世帯が
増加

ように対処するのか。
答弁(教育長) 一人ひとりの家庭状況を把握し、子供たちの希望にそえるよう指導する。

質問 埴町就学援助費が年々増えているのはなぜか。

質問 油断することなく教育行政にあたってほしい。

答弁(教育長) ひとり親世帯が増えている。受給者の7割がひとり親世帯である。また、制度の周知を進めてきた。

答弁(教育長) 「教育は人なり」教員が力をつけ、地域と学校と家庭が一緒に取り組む。未来を担う子供たちを育成する。

質問 ひとり親世帯や仕事に忙しい世帯の子どもの「SOS」を発見することが大切。何をすべきか。

答弁(教育長) 調査やアンケートを実施した。今後も学校・家庭生活、友人関係を十分把握して教育していく。

結果は公表するのか
中身を精査する

質問 健康福祉センター整備検討委員会の結果はいつ公表するのか。

質問 健康福祉センター整備検討委員会の結果はいつ公表するのか。

質問 子どもの貧困にどの

中身を精査して検討する。

地方創生をどう進めていくのか 総合戦略を策定する

質問

今年が地方創生元年である。積極的に予算を獲得して町を元気にしなければならぬ。新たに取組もうとしていることがあるか。

答弁

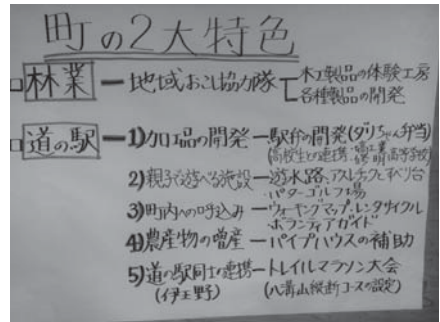
総合戦略を27年度中に策定する。地方創生先行型では「元氣な暮らしから創生企業連携モデル事業」を計画している。

質問

町の特色である「林業」や「道の駅」で地方創生を進めてはどうか。

答弁

林業は森林再生事業で進めたい。道の駅では大学との連携で加工品開発を進めたい。道の駅同士の連携なども検討したい。しかし、町全体をよくしなければならぬのでこればかりでなく商工会なども話し合いたい。



観光と歴史の案内人を設けてはボランティアを活用していく

質問

町の歴史や観光を案内するボランティアがガイドを設けて、町のPR・おもてなしの心を伝えてはどうか。

答弁

現在、観光ボランティアが7人いるがPR不足である。今後、勉強会などをして案内人のレベルアップをしていきたい。



観光ボランティアがおもてなし



鈴木 茂

塙を訪れる人におもてなしの心で、自然や歴史を案内すれば、リピーターが増えるのでは！

町民目線政治実現へアンケートをとっては実施する

質問

町長が考える「町民目線の政治」とはどのようなものか。

答弁

多くの町民の意見を聞いて自分の政治公約を守る事が基本。行政がより身近に感じられるような町政を行う。

住民のニーズに配慮するため、政策アンケートを実施してはどうか。

答弁

住民のニーズの把握は大切。行政懇談会も必要。地方創生の塙版総合戦略策定のためアンケートを実施する予定である。

と今後の進め方は。

答弁（教育長）

子どもの肥満も問題であり、国と同様、現実には連携できていない。策定中の子ども子育て事業計画、健康はなわ21計画及び国の動向を見ながら検討する。

質問

自分の健康は自分で守るという意識づけ・動機づけを進めるべきではないか。

答弁（教育長）

子どもからお年寄りまで様々な機会を設けて健康づくりに励んでもらう。一人でも多くの方に参加していただきたい。

質問

保健推進員の役割は多岐にわたる。負担軽減の検討が必要ではないか。

答弁

委嘱も難しい状況である。増員など地域で

移住促進対策を取り組んでいく

質問

支えあう塙町の仕組みづくりを考えていかなければならない。

災害協定締結都市・アンテナショップ事業などを活用し、町の情報発信も可能と考える。移住促進に積極的に取り組む考えは。

答弁

町の活性化・人口減少対策として町のPR・都市交流を継続し、空き家対策にも取り組んでいく。

質問

交流実績のある練馬区と住民レベルでの交流の継続など相互交流の充実を図り、移住につなげてはどうか。

答弁

塙の良さを知ってもらい、都市交流を継続することに意義がある。

どう進める 自主的な健康づくり 地域で支え合う仕組みづくりを



鈴木 幸江

健康政策に関する町長の所信を問う。

答弁

平均寿命に近づくと



各地区で行われている健康教室

うな健康寿命を目指し、健康はなわ21計画に沿った町民の健康を守る。

住み慣れた地域でいつまでも生活できるよう願っています。

定住促進住宅の財源は 補助事業を活用したい



藤田 一男

任期も残り一年。
悔いのないようにがんばります。

子育て支援施策は
あらゆる手段で
進める

質問 建設費用の財源をどう考えるのか。
答弁 基本的には税金である。作る物によってどのような補助事業が該当するかこれから調査していく。

質問 魅力的だが坪単価110万円は高すぎる。
答弁 補助金をもらうので公共単価でやらなければならぬ。それではそのような金額になってしまう。過疎債なども利用するので実負担は坪15万円ぐらいになる。

健康福祉センター
建設の見通しは
できるだけ早めに造る

質問 子育て支援住宅など子育て世代が住みやすくなる施策、対応は考えているか。
答弁 若者に定住してもらうため、モデルとして定住住宅を造りたい。定住人口増のため、あらゆる手段を講じた

質問 定住促進住宅と町営住宅との違いは。

答弁 法律の違いである。町営住宅は所得に応じて家賃が決まる。定住促進住宅は町が家賃を決められる。

質問 補助金をもらわず町の資金でやればもっと安くできるのではないか。
答弁 実負担は補助事業の方が有利である。

質問 健康福祉センターの建設は整備検討委員会の答申によって方向が変わるのか。
答弁 町民の要望で公約としたもの。報告を聞いてから判断する。

質問 今回の定住促進住宅建設は補助率50%



大子町の子育て支援住宅を視察

質問 健康福祉センターの建設の見通しは。
答弁 できるだけ早めに造るよう努力する。

このほか、小林達信議員から次の質問がありました。
・ 埴厚生病院の医師不足問題について
・ 少子化対策について
・ 害獣対策(イノシシ)などについて

議員のあるべき姿とは、議会に望むものとは

2月27日、行政区長連合会役員と「議員のあるべき姿、議会に何を望むのか」をテーマに意見交換会を行いました。議会活動の疑問や少子化問題、町政全般など多くの幅広い意見をいただきました。



区長から

- ・ 開かれた議会とはどういうことか。
- ・ 議員の日常の活動が見えない。
- ・ 自分の考え、意思を明確にしてほしい。
- ・ 議決の際、意見は出尽くしているのか。反対意見などもっとあってもよいのではないか。
- ・ 過疎対策、子どもにかかる経費の無料化や子育て住宅の家賃無料化はどうか。
- ・ 陳情内容に対し、できるできないの返事が遅い。早めの対応を。

議員から

- ・ ホームページやフェイスブックで情報を発信している。
- ・ 提出された議案はほとんど否決されていない。これが議会不要論につながっている。
- ・ 何もしていないわけではない。反対討論などもある。
- ・ 少子化には危機感を持っている。子育て支援を進めたい。

そのほかたくさんの意見をいただきました。



議員との意見交換会を終えてお話を伺いました。

平成26年度行政区長連合会
副会長 生方 孝行さん
区長との意見交換会は年2回くらいやってもいいかもしれない。子供たちの安全な生活や将来を考えてほしいです。
議員の皆さんには襟を正し、町民の声の代弁者であることを強く認識して活動してもらいたいです。



こんな風に
感じました

平成26年度行政区長連合会
会長 金澤 秀世さん
4月から施行された議会基本条例、これに沿った活動をしていくことが議員の努めであり、評価されるものと思います。議員になるのは重いこと、思いがなければできません。意見交換会では議員の本音が聞けました。これからも議員の思い・行動を見守ります。

物言う議会にするために 活動中

3月11日、町の喫緊の課題に取り組むため、二つの特別委員会を設置しました。議長を除く全員で組織され、調査・研究を進めます。

待ったなしの 少子高齢化対策

少子高齢化対策 調査特別委員会

調査目的

少子高齢化の進行・生産年齢人口の減少により地域生活の維持が危惧される。健康寿命延伸対策が急がれる。高齢になっても住み慣れた地域で自立して生



子どもの数が減っている

活が維持できる地域づくり・健康政策に関する調査研究する。少子化については平成25年から鮫川村や常陸太田市を視察に事務調査に取り組んできた。

埴町の今後の 林業を考える

林業振興対策 調査特別委員会

調査目的

基幹産業である林業が低迷している。
1. 山林の荒廃
2. 林業従事者の高齢化・後継者不足
3. 価格の低下
の現状に理解を深め、森林資源の活用と再生、環境保全及び後継者育成などに関し、調査研究をする。

目に見える議会に 基本条例施行

議員が自ら作り制定した「埴町議会基本条例」が施行されました。身近な議会にするために目に見える具体的な議会活動をしていきます。

また、議論を深め、政策提言や事務調査の強化、年1回の議会報告会の開催で皆さんの意見を聞きやすくします。

議会が町を監視するように皆さんも議会に興味を持ち、見守ってください。委員会も公開していますので、定例会だけでなく、委員会も傍聴にお出かけください。
↑基本条例の全文は埴町議会のホームページで確認できます。

こんなことまで公開中 議会ホームページ

- 埴町議会のホームページが変わりました。
- 議員直筆の研修報告書の公開
- 一人ひとり採決の状況
- 委員会を含めた欠席状況

- 委員会の会議録の公開
- そのほかフェイスブック、ツイッターでの情報発信もしています。ぜひ、ご覧ください。

埴町議会で検索をお願いします。



埴町議会ホームページ

所管事務調査

意見

アンテナショップ 本来の役割を

アンテナショップ 実証事業を調査

調査日時
2月16日

事業内容

平成24年7月東京都葛飾区内に東京聖栄大学・地域商店街の協力を得て、風評被害払拭及び物品販売を目的に3年間の実証事業として開設。事業主体は一般財団法人天領の郷はなわで町は運営に要する経費を補助している。

初期の目的である風評被害払拭及び産品販売の実績は評価できる。また、埴町の存在を当該地域に知らしめた効果は大きい。現時点では



本来の役割が求められるダリちゃんショップ

物産品の販売所となつていように見受けられる。今後、アンテナショップ本来のPRや交流事業の拡大、特産品の開発につながるよう事業効果の向上に努めるべきである。

ニーズを捉え、 適正価格で建設を

定住促進住宅を 調査

調査日時
2月17日

事業内容

台宿字北原地内に木造二階建て1棟2戸を補助事業により建築を計画している。

意見

常識打破に挑戦し、 町民目線で事業執行を

有休地の活用のが否めないが、本格的に定住促進住宅建設を進めるにあたって試金石となるものである。

建築単価不測の事態を考慮し、安全面を考慮した金額として社会通念上、高額

と言わざるを得ない。公共事業の建築単価は民間取引と比較して高いのは当たり前という常識がある。常識打破に果敢に挑戦していただきたい。補助事業についても見込みであり、さらなる検討が必要である。従来の方式を見直すなど若者のニーズを的確に捉え、若者に魅力ある町民目線で事業執行にあたるべきと考える。



建設予定地を調査

追跡レポート ～ 一般質問のその後 ～

過去の一般質問の中からピックアップしその後の動き、現在の状況を調査しました。

種もみ代の一部を助成します

米価下落の補償はしないとしていたが、郡内町村長で話し合いを重ね、農家の負担軽減や米作支援のため平成27年度に限り種もみ代の助成金交付を決定した。

- 助成内容 作付面積10aにつき800円助成
- 申請時期 5月末を予定(対象者に通知する)



問い合わせは、まち振興課
e-mail: sinko@town.hanawa.fukushima.jp
(電話43-2118)までお願いします。

米下落に対する支援を

質問 食用米の価格が大幅に下落した。米農家への支援をどのように考えるか。
答弁 町村会で補償を検討したが見送りとなった。(平成26年12月定例会)

議会議員と意見交換しませんか

議会議員と意見交換会をする団体を募集しています。町民または町内に勤務しているおむね10人以上のグループが対象で、ご希望の会場に伺います。お申し込みは、議会事務局(Tel 43-2150)をお願いします。

議会だよりモニターさんの声

1月29日、議会だよりモニター会議を開催。今までいただいた意見と今後の対応を話し合いました。

◆ 一般質問の目次の要否

「記事に入りやすい」「スペースがもったいない」と要・否の意見あり。

◆ 対応 総ページ数と記事内容によって検討し、編集する。

◆ 一般質問

「内容が薄く、読み応えがない」
◆ 対応 129号から文字数を400字から600字に増やし、内容を整理した。

◆ ひことメッセージ・つぶやき
「個性が見える」「親近感がわく」「必要ない」

◆ 対応 賛否両論あるが当分、継続する。

◆ 表紙写真

公募して町民参加の議会だよりにはどうか。
◆ 対応 公募したが応募がなかった。

◆ その他・全体への意見

- ・表紙写真に臨場感があってよい。
- ・定例会のページ、メリハリのある編集が必要。
- ・空きスペースの有効利用を。
- ・議会中継配信・ツイッター・フェイスブックなど情報化の推進も必要だが、高齢者には「議会だより」や文字での発信は大切である。
- ・議会中継が見られる環境整備を進めるべき。
- ・議会・委員会の傍聴ができることなど多くの町民に知らせていくべき。

埼玉厚生病院整形外科
医師2名常勤体制決定

○栃木県那珂川町
議会広報特別委員会来町

東白川郡4町村議会
合同で「地域医療の現状と対策」について調査研究・対策を進め、郡議長会として要望活動をやってきた。このほど整形外科医常勤体制が決定し、4月1日より着任した。今後も産婦人科医・泌尿器科医・小児科医の確保など地域医療環境充実の要望活動を継続していく。

2月16日、那珂川町議会の議会広報特別委員5人が来町され、議会だよりの編集・発行について議会ホームページの管理・発信について研修し、意見交換を行った。

全国町村議会 表彰

埴町議会が全国町村議会議長会から町村議会表彰を受賞しました。評価された事項は次のとおりです。

1. 政策づくりと監視機能を十分に発揮している議会
2. 住民に開かれた議会
3. 地域振興のために特別な取り組みをした議会



○茨城県大子町視察 (1月21日)

・子育て支援住宅・子育て住宅建設助成金連携住宅ローン金利優遇制度
子育て世代の意見を反映した町営住宅を建設、当初の目的を達成した先進的事例を視察。
・ふる里農園整備事業
定住促進・町有遊休農地利用及び地域活性化



那珂川町議会から視察に来町

化推進を目的に農園付き住宅用地を期限付き無償貸与。全国でも初めての先進事例を視察。

○栃木県那珂川町視察 (1月21日)

定住促進政策、定住促進住宅用地貸付事業研修

○議員研修 (2月4日)

議員定数・議員報酬をどう考えるか、議会改革の観点から、講師 福島大学 行政政策学類長 中川伸二氏

政策立案・住民の意見聴取・行政の監視や政策評価など、埴町議会が「どのような議会を目指すか」という観点から定数及び報酬を考えるべきであり、人口規模や他議会との比較などで考えることではないと強調された。

○自治体向けタブレット端末ICT推進セミナー (1月26日)

参加者

情報化推進検討委員
自治体におけるタブレット端末を活用した業務の効率化とペーパーレス会議について

○八溝山周辺地域定住促進自立圏シンポジウム (2月20日)

主催 福島県 栃木県 茨城県
場所 那須野が原ハートモ二ホール
持続的、魅力的で幸福感あふれる圏域づくりを目指して開催された。

・基調講演

演題「人口減少と超高齢化社会に備えて」
講師 増田寛也氏
・パネルディスカッション

○東白川地方地域医療に関する研修会「県内における地域医療の状況」 (2月7日)

・福島県内における地域医療の状況について

講師 埴厚生病院 事務長 加藤洋志氏
福島県内・県南地域の医師数の現況及び医師確保に向けた取り組み、埴厚生病院の常勤医師の現況・緊急医療の現況と課題、在宅医療、介護の連携推進の方向性に関し、資料を基に説明を受け、理解を深めた。

・高齢者に多い整形外科疾患について

講師 白河厚生病院 整形外科副部長 茂呂貴智氏

皆さんの団体やサークルに広報常任委員が伺います。

団体の名称：はなわ読み聞かせ出前塾

活動場所：「ボカージュ」 代表者：野々花子さん TEL 080-6025-5288

読み聞かせ 出前します

「はなわ読み聞かせ出前塾」は学校・個人宅などへ出向き、読み聞かせを行っているサークルです。

塾生7人、毎月第3日曜日に定例会を開き、互いに読み聞かせを行い、レベルアップに努めています。声色・思いがそれぞれ違っても共感し、楽しく練習しています。声を出すことは呼吸法につながり「出前塾」塾生の心身の健康増進にも一役買っています。

「はなわ読み聞かせ出前塾」はお呼びがあればどちらでも出かけます。ご希望の本などがあれば準備します。どうぞご利用ください。



ご連絡お待ちしております

編集後記

新年度予算を慎重に審議し、決議しました。補正予算では、国の総合戦略「消費喚起型交付金」「先行型交付金」による各種事業が即、執行されます。林業振興対策、少子高齢化対策を重要課題として、調査特別委員会を立ち上げ、3月定例会を閉会しました。うれしい出会いと新たなスタートを迎えた4月、町民の皆さまと共に大きく躍進しましょう。

鈴木 幸江

議会傍聴に おいでください

次回の定例会は、6月11日から開会される予定です。氏名の記入など簡単な手続きで傍聴できます。ぜひお出かけください。

広報常任委員会

委員長	鈴木 幸江
副委員長	吉田 克
委員	鈴木 茂志
委員	藤田 高

※議会会議録は、図書館・議会事務局、またはホームページでもご覧いただけます。